

きれい 甲斐

No.52 OCTOBER 2010

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ●〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 〆 kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/partnership.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

マイバッグ・マイはし・マイボトル お絵かきコンテスト入賞作品決定!!

環境パートナーシップやまなしでは、「マイバッグ・マイはし・マイボトルお絵かきコンテスト2010」を実施しました。

このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒から「マイバッグ・マイはし・マイボトル」に関する絵を募集し、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方を考える機会を持ってもらうことを目的としています。おかげさまで、658点もの作品のご応募をいただきました。ありがとうございました。

今年は、昨年までのマイバッグに加え、マイはし、マイボトルも対象としたところ、家族で楽しくマイはしで食事をしている様子や、マイボトルを持ってお出掛けしている様子、お気に入りのマイバッグ・マイはし・マイボトルの絵など、作品の内容に広がりが見られ、より充実したコンテストとなりました。

素晴らしい作品ばかりで選定が困難な中、審査会において、入賞作品が決定されました。最優秀賞の環境パートナーシップやまなし会長賞には、甲斐市の小池拓斗さん（11才）の作品が選ばれました。

入賞作品は、11月13日、14日に小瀬スポーツ公園で開催される「県民の日記念行事」に設置する環境パートナーシップやまなしのブース内に掲示いたします。また11月13日の午前11時から同会場内のクラフトタワー前ステージにて表彰式を開催する予定です。多くの会員の皆様にご来場いただけますようお願いいたします。

入賞者は次のとおりです。



環境パートナーシップやまなし会長賞に選ばれた小池拓斗さんの作品

- | | | | | |
|----------------------------|-------------|------------------|-------------|------------|
| ○環境パートナーシップやまなし会長賞 | 甲斐市 小池拓斗さん | | | |
| ○社山梨県トラック協会賞 | 甲斐市 小松奈々宝さん | 甲府市 佐野舞奈さん | 甲府市 山本 瑤さん | 社講師 石井美帆さん |
| | 甲斐市 雪江真綾さん | | | |
| ○環境に関する企業連絡協議会賞 | 甲府市 前田竜大さん | 甲斐市 小池弦斗さん | | |
| ○甲府湯田高等学校賞 | 龍ヶ崎 小田切静さん | 甲州市 清水 望さん | | |
| ○生活協同組合 市民生協やまなし賞 | 市川町 池本好花さん | 甲府市 安部成美さん | | |
| ○都留信用組合賞 | 富士吉田 渡辺結衣さん | 笛吹市 新田ななさん | | |
| ○株式会社カワ紙販賞 | 韮崎市 村松知哉さん | 笛吹市 古屋菜央さん | | |
| ○社山梨県産業廃棄物協会賞 | 甲府市 齊藤百香さん | 韮崎市 瀧口美沙さん | | |
| ○山梨県民信用組合賞 | 甲斐市 雪江奈桜さん | 甲府市 谷川友菜さん | | |
| ○生活協同組合 パルシステム山梨賞 | 甲府市 山本 樹さん | 社和歌 三浦颯馬さん | 甲府市 保坂のどかさん | |
| ○全国共済農業協同組合連合会山梨県本部賞 | 甲斐市 戸田直樹さん | ○中央労働金庫山梨県本部賞 | 甲斐市 渡辺朝子さん | |
| ○日本労働組合総連合会山梨県連合会賞 | 甲斐市 若杉雛乃さん | ○やまなし環境会議賞 | 山梨市 中島更紗さん | |
| ○山梨県火災類保安協会賞 | 甲州市 有本弥生さん | ○山梨県絹人織物工業組合賞 | 甲府市 河野枝里子さん | |
| ○社山梨県建設業協会賞 | 昭和町 土橋桃子さん | ○山梨県建設コンサルタンツ協会賞 | 甲州市 沢登知那津さん | |
| ○山梨県商工会議所連合会賞 | 笛吹市 大塚菜々莉さん | ○山梨県商工会連合会賞 | 社講師 岡本真依さん | |
| ○山梨県地球温暖化防止活動推進センター賞 | 甲州市 市川弘樹さん | ○山梨県中小企業団体中央会賞 | 山梨市 袋井咲良さん | |
| ○社山梨県老人クラブ連合会賞 | 甲斐市 古田瑠里さん | ○社山梨県労働者福祉協会賞 | 甲府市 藤原凉彌さん | |
| ○東京電力株式会社山梨支店・日本赤十字社山梨県支部賞 | | | | |
| 甲府市 井上奈穂さん | 山梨市 田村聡一朗さん | 甲府市 名取 瞳さん | 甲府市 鈴木花奈さん | 市川町 深澤花王さん |
| 甲府市 佐藤綾香さん | 富士川町 小川美羽さん | 市川町 土屋武蔵さん | 龍ヶ崎 小池翔瑠さん | 山梨市 安富美佳さん |
| 山梨市 雨宮 諒さん | 山梨市 古屋美咲さん | 甲斐市 片山義翔さん | 龍ヶ崎 岩澤詩恵利さん | 山梨市 皆川勇斗さん |
| 甲斐市 小松真宝さん | 甲府市 名取愛依さん | 韮崎市 青柳ゆりさん | 市川町 望月茅乃さん | 市川町 川崎ゆいさん |
| 甲府市 石川遥香さん | 北杜市 山本明日香さん | 甲州市 木田樹里さん | 甲府市 佐野将斗さん | 山梨市 武井佑磨さん |
| 市川町 三神万里亜さん | 甲斐市 深澤姫花さん | 龍ヶ崎 岩澤詩桜さん | 北杜市 坂本くるみさん | 甲府市 香月詩織さん |

平成22年度環境省モデル事業「カーボン・オフセットトマト」の取り組みについて

南アルプス市総合政策部地球温暖化対策室

南アルプス市の特性にあった地球温暖化対策の施策として「木質バイオマス」の導入については様々な角度から検討をおこなってきました。

昨年度は市内の果樹園から出る剪定枝を収集し、それを原料としたペレット（木質バイオマス）をA重油の代替燃料として使用しハウストマトを栽培しました。

この栽培方法によって作られたトマトはカーボンニュートラル（※）の観点からCO₂の排出を抑え、かつ限りある化石燃料を使用しない「エコトマト」として今年の4月から5月にかけて県内のスーパーや市のイベントにおいてテスト販売を行いました。

今回環境省から採択を受けたモデル事業は、前述のように木質バイオマスで栽培したトマトに1個あたり5kgの排出権をつけ、環境省基準の認定ラベルを付与し「エコトマト」から一歩進んだ「カーボン・オフセットトマト」として首都圏を中心にテスト販売を行うものです。

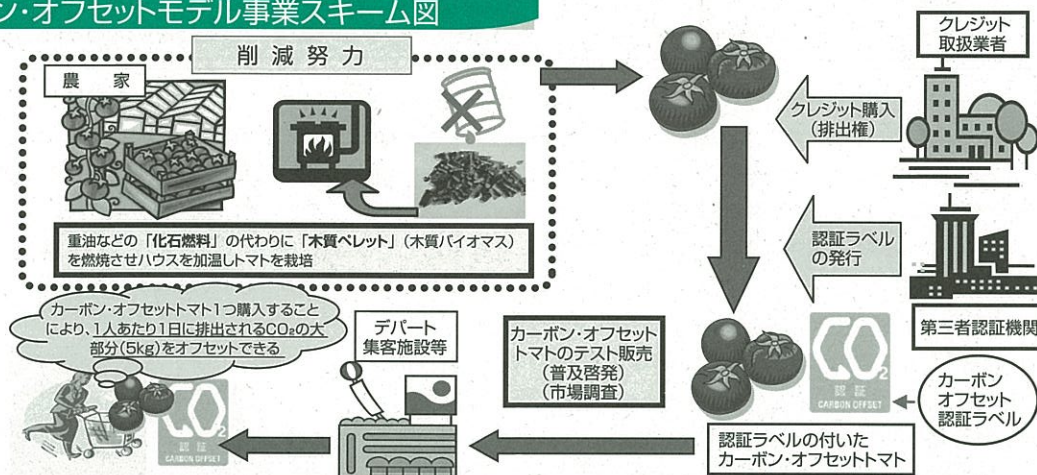
この事業においてテスト販売される「カーボン・オフセットトマト」が市場での優位性が示されれば、トマトだけでなく「さくらんぼ」など他のハウス農家への木質バイオマスの普及が期待でき、地球温暖化対策と同時に、環境付加価値のついた南アルプス市のブランド農作物が確立、ひいては地域農業の活性化に結びつくのではないかと考えています。

（※）木質バイオマスを燃焼すると、化石燃料と同様にCO₂を発生するが、植物は、成長過程で光合成によりCO₂を吸収しており、ライフサイクル全体でみると大気中のCO₂を増加させず、収支はゼロであると考えられる。このように、CO₂の増減に影響を与えない性質のことをカーボンニュートラルと呼ぶ。



栽培用ハウス

カーボン・オフセットモデル事業スキーム図



やまなしエコライフ県民運動 推進店登録制度が始まりました

環境パートナーシップやまなしでは、山梨県などと協働して、環境にやさしい社会「CO₂ゼロやまなし」を実現していくため、マイバッグ・マイはし・マイボトルの持参、リユースびんの利用、エコドライブ、緑のカーテンづくり、環境家計簿の活用の7つのエコ活動（レインボーアクション）を「やまなしエコライフ県民運動」として推進しています。

10月から、県民の皆様のエコ活動を支援していただく推進店の登録制度が始まりました。推進店の目印は次のステッカーです。推進店は山梨県のホームページでもご覧いただけます。

マイバッグ 推進店

やまなしエコライフ県民運動
レジ袋の無料配布中止に取り組む店舗等

マイはし/リユースはし 推進店

やまなしエコライフ県民運動
マイはしの利用者に対して割引や特典を実施する店舗又はリユースはし(繰り返し使えるはし)を使用する店舗等

マイボトル 推進店

やまなしエコライフ県民運動
水筒や飲料ボトル等(マイボトル)を持参する方に対して、マイボトルに飲み物を販売する店舗等

参加団体・推進店 募集中!!

詳しくは、ホームページをご覧ください。か、県環境創造課へお問い合わせください。

URL
<http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/ecolife.html>

TEL
055-223-1506

リユースびん 推進店

やまなしエコライフ県民運動
一升びん、ビールびんなどのリユースびん(リターナブルびん)入りの商品を販売するとともに、その空きびんを回収する店舗等

エコドライブ 推進店

やまなしエコライフ県民運動
自動車の購入者等に対してエコドライブの内容を説明し、希望者にエコドライブステッカーを配布する店舗等

緑のカーテン 推進店

やまなしエコライフ県民運動
緑のカーテン用の苗、種、用土など必要な物品等を販売するとともに、緑のカーテンの育て方について説明する店舗等

今、私たちにできること… 「やまなし森の紙」と環境を考える

やまなし森の紙推進協議会事務局 藤川明子

最近の自然環境は、世界中で起こる異常気象による災害や大規模地震などの悲惨な状況を見ても周知の通り危機的な状態にあります。この原因とされている温室効果ガス(CO₂)排出による地球温暖化を今止める努力をしなければなりません。

そこで、私たちにできることとしては、CO₂を吸収し元気な地球を取り戻してくれる大切な森林を守ることや、環境に対する意識をより高めて身近なことから取り組みを始めることなどが挙げられます。

私たち協議会会員は、コピー用紙「やまなし森の紙」の使用意義について普及を図っています。この用紙は、公有林として日本で初めて世界基準であるFSC森林管理認証(*)を取得し、かつ、認証面積全国第1位の面積を持つ山梨県県有林のチップが一部使用されており、まさしく山梨県独自の環境循環型モデル製品といえるものであります。

県民の財産ともいえるこのすばらしい県有林を有効に活用することや、次世代に向けて守ることは、環境循環型社会の構築や地産地消の実現につながり、ひいては、地球温暖化防止にも役にたつことであると私は考えます。

また、協議会では、将来を担っていく子供たちに向けた環境教育の一環として、この紙に使用されているチップの製造過程を実際に見たり触れたりして体験していただくことにより、環境を守ることの大切さをより理解していただけるように企画しております。

普及活動としては、やまなしエコライフ県民運動に賛同して、独自のマイボトル(やまなし森の紙ロゴ入り)を製作し、「やまなし森の紙」の使用意義をご理解頂いている団体や会社、県民の皆様に使って頂いております。

最後に、今後も環境活動には参加していきたいと思っております。



(*)FSC森林管理認証:世界各地での過剰な森林伐採や盗伐を抑制するため、世界的規模で誕生した国際的NGOが、国際的な基準に照らして審査し合格した森林のみ認証されるもの

今年も廃食油回収キャラバンを開催しました

バイオディーゼルネットワークやまなし

2007年11月1日市民団体「バイオディーゼルネットワークやまなし(略称:バイオディーゼルネット)」を発足しました。県内で菜の花(ひまわり)栽培や廃食油の再利用活動を行なう団体、バイオディーゼル燃料を利用する団体等が会員登録をしており、廃食油再利用の普及や学習会などの活動を進めるとともに、地域で資源循環活動を進める団体等へのサポートや情報発信を行っています。

当団体として、発足以来年2回、行政や地域の諸団体と一緒に「廃食油回収キャラバン」を開催しています。今年7月3日(土)に県内15会場で行いました。会場には約155名の方が廃食油や賞味期限切れ天ぷら油を持



参され、全体で885.2リットルを回収することができました。また企業の社会貢献事業として、社内で案内をしていただけたところもあります。こうして回収した廃食油はバイオディーゼル燃料を精製する会員に提供しています。

また会場となった市川三郷町役場本庁前や昭和町役場前では、消費者団体等による事前回収が行なわれていたこともあり、市川三郷町役場本庁前で293リットル、昭和町役場前で210リットルの廃食油を回収できました。

これまで5回の「廃食油回収キャラバン」を展開し、約2,800リットルの廃食油を回収することができました。

県民の日記念行事に 環境パートナーシップやまなしが出展します

11月13日(土)、14日(日)に小瀬スポーツ公園で開催される「第25回県民の日記念行事」へ、環境パートナーシップやまなしが出展します。

環境広場に設置する環境パートナーシップやまなしのブース内では、両日にかけて「マイバッグ・マイはし・マイボトルお絵かきコンテスト2010」の入賞作品を展示するほか、エコに関するイベントの実施も予定しています。

また、県民の日記念行事が、ゴミの出ないイベントとなるように、ゴミ持ち帰りキャンペーンとして、両日午後2時から3時にかけて、ゴミの持ち帰りを呼びかけるパレードを実施します。多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

会場では、その他にもいろいろな団体の出展が予定されています。皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

また、ご来場の際には、環境に配慮し、マイバッグ、マイはしの持参にご協力をお願いします。



会員リレートーク Vol.13

やまなしエコライフ県民運動に参加

山梨県消費生活研究会連絡協議会 仲澤 早苗

私たちの連絡協議会は、消費生活に必要な知識を修め実践活動をとおして生活の向上を図ることを目的として、昭和48年に設立しました。



循環型社会の実現を目指して、グリーン購入の推進などさまざまな活動の啓発を行って参りました。その中でも特にノーレジ袋実施に当たって、県より委託をいただき、「マイカゴモニター」を県下4地区に800名をお願いして3ヶ月間実施し、78%の人々がレジ袋廃止に賛同していただきました。これをもとに、県、企業、消費者団体が一体となって全国でもいち早く、ノーレジ袋実施が実現できました。

本年度の活動として「やまなしエコライフ県民運動」の参加団体に応募を行うこととし、CO₂ゼロやまなしをめざして、重点目標を各地区に設定し、8地区それぞれ、マイバッグ運動、マイはし運動、マイボトル運動、リユースびん運動、エコドライブ運動、緑のカーテン運動、環境家計簿運動など380名が参加して活動を行っています。

廃食油の回収、ペットボトルのキャップの回収、再生利用など実践活動を行うとともに、啓発活動になお一層邁進して参りたいと思います。



●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。